



大山

Oyama



奏でた！踊った！楽しんだ！大山の夏

7月27日、夏の一大イベント「第43回大山ふるさと夏まつり」が大山文化センター周辺で開催された。猛暑の中、恒例のバスケットボール大会や子供たちの踊りや吹奏楽の演奏などが行われ、屋台が並び賑やかな会場に約500人が集まった。昨年好評だった大山音頭を輪になって踊ったり、お楽しみの抽選会に一喜一憂したり、夏の良い思い出となった。



夏の夜の幻想的な光

7月19日から31日まで、大山ダムで「ダムライトアップ」が行われた。昨年に続き「大山ふるさと夏まつり」開催日に合わせて、午後8時から10時までダムをカラフルにライトアップ。期間中は、午後10時まで「ダムカード」を配布。また、夏まつりの会場では、大山ダムについてのパネル展示や説明も行われた。



日田

Hita



暑く・熱い かぶと虫バトル

7月28日、第7回小山かぶと虫すもう大会が小山多目的交流館で開催された。約60人の子供たちが「綱渡り・木登り・すもう」の3種目を各トーナメント戦で争った。自分で捕ったかぶと虫の中からお気に入りを選び、真剣な眼差しで競い合う子供たち。全国1位の最高気温を記録した日に、この会場でも白熱したバトルが繰り広げられていた。



的を見つめ、精神を研ぎ澄ます

7月7日、日田市アーチェリー場でアーチェリー九州身体障害者選手権大会が行われ、九州各県から36人が出場し、日頃の練習の成果を競い合った。当日は、気温30度を超える猛暑となったが、参加した選手は高得点を目指して的に集中した。大会では、選手宣誓をした日田市の投野文仁選手が、A級リカーブ男子50m・30m部門で1位となった。

上津江

Kamitsue



思い出に残る夏祭り

8月3日、「第7回上津江夏祭り」が道の駅せらぎ郷かみつえで開催され500人以上の来場者で賑わった。子供たちは、魚のつかみ捕りや射的に何度も挑戦し、上・中津江有志によるシンクロナイズドスイミングでは園児が飛び入り参加するなど笑顔の絶えない時間となった。フィナーレの花火で会場は一体感に包まれ、思い出に残る夏の夜を過ごした。



糸島かつぱリング交流会

7月27日、福岡都市圏と筑後川流域市町村の住民同士が交流を行う「かつぱリング」が糸島市で開催され、津江小・中学校の15人と保護者が参加した。水に関するビデオ学習や3種類の利き水大会では糸島市の小学生と相談しながら発表。その後、砂浜でのレクリエーションと海岸清掃を行い、昼食後は一番楽しみにしていた海水浴に笑顔がはじけていた。



夏休みの科学実験！

8月8日、第22回子どもフェスティバル～科学の遊び実験フェスタ～がパトリア日田で開催された。実行委員会の主催で、市内小・中・高校の理科・科学の教師と高校生が28のブースを用意し、子供たちと科学の不思議を体験した。今回は特別展として移動水族館とタッチプールが登場し、参加者は過去最高の1,180人となった。



全国でも全力を出し切る！

5月に行われた「第20回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会大分県予選」に優勝し、全国大会に出場する選手が8月6日に市役所で報告会を行った。出場する選手から「最後まで諦めずに全力を出し切りたい。ベスト8を目指し頑張りたい」と熊本県八代市で行われる全国大会に向けて熱い抱負が述べられた。